

当院では、少しでも安心して受診いただけるよう、できる限りの新型コロナウイルス感染症対策を行っております。

<待合室>

- ① 多くの方が手にする可能性がある、新聞・雑誌、キッズルームのぬいぐるみ・

おもちゃ・絵本を、撤去しました。

- ② 感染拡大の対策のため、受付カウンターにプラスチックパーティションを

設置しました。プラスチックは、アクリルとは異なり、アルコール消毒が可能です。



↑受付プラスチックパーティション

- ③ 診療所の入口に、アルコールスプレーを用意しております。

- ④ 1時間につき10分程度、入口ドア、勝手口ドアを開け換気をしております。
- ⑤ 手すり、椅子など体が触れる場所を、頻回にアルコールあるいは微酸性次亜塩素酸水による消毒をしております。



↑微酸性次亜塩素酸水は、当院で生成装置を使用して作っています

- ⑥ 非接触型体温計を用いて、受診される患者さん、付き添いの皆さんの体温測定をしています。
- ⑦ 待合室に、カルテック社製光触媒除菌脱臭機ターンドケイ/KL-W01を導入しました。10月に、「空気中に浮遊する新型コロナウイルスの感染性を検出限界以下まで消失させる効果」が実証された機器です。



⇐ ターンドケイ

<診察室>

- ① 診察用器具（耳鏡・鼻鏡・舌圧子・吸引管・通気管）を数個ずつ滅菌パックにいれて滅菌しています。使用する度に開封し、器具を介しての感染を予防しています。また、診察ユニットの上に蓋を設置し、咳・くしゃみが器具にかからないようにしております。

①



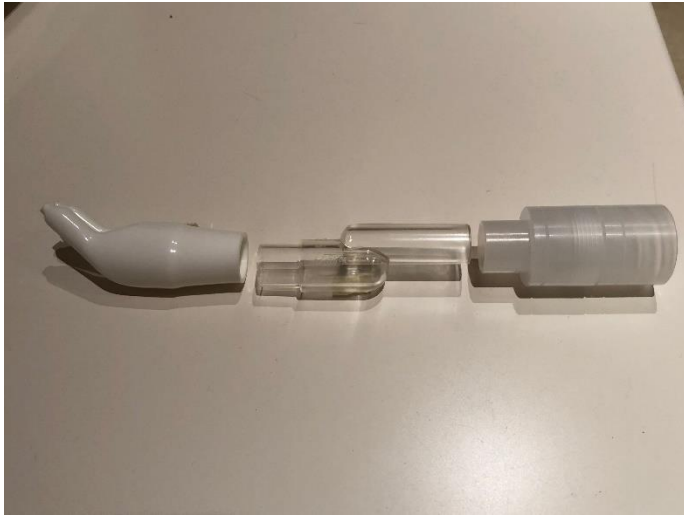
②



- ② 診察ユニットからの排気口にフィルターを装着し、診察室内でのエアロゾル感染の対策をしております。

<診療>

- ① アレルギー性鼻炎の患者さんには、極力鼻内スプレー・吸引は行わないようにしています。明らかな細菌感染を疑う化膿性扁桃炎以外の咽頭喉頭炎の患者さんには、ルゴール塗布を行っておりません。出来るだけ、咳やくしゃみを誘発しないように注意しております。
- ② 感染防止アダプター、逆流防止アダプターを使用して、ネブライザー（吸入）治療を行っております。



③ 鼻咽頭拭いによる検査（インフルエンザ、溶連菌、アデノウイルス）は、明らかに細菌感染を疑う場合以外は行っておりません。

④ 院長・スタッフは、標準予防策（サージカルマスクの着用、グローブの着用、エプロン着用、手指アルコール消毒）を徹底しております。手洗いには、微酸性次亜塩素酸水を使用しております。

⑤ 発熱、強い全身倦怠、咳、強い咽喉の痛みがある患者さんは、通常の待合室とは違う部屋へ動線を分けて案内しております。

その部屋には、高性能 HEPA フィルターを装備したクリーンパーティションを設置して、エアロゾルの拡散を防止しております。診察はその部屋で行い、院長・スタッフは、保護メガネ、手袋、ディスポーザブルエプロンを装着して診療いたします。状況によってはフェイスシールドあるいはゴーグル、防

防护服をつけさせていただきます。



↑エアテック社製クリーンパーティションを2基用意しています